

鎌倉市新庁舎等基本設計及び DX 支援業務委託
公募型プロポーザルの選定結果（審査報告書）

令和6年（2024年）10月3日

1. 応募者

（参加資格確認の申込順）

登録受付符号	応募者名 (提案名)
FU	株式会社日建設計 (鎌倉ONE)
KA	株式会社石本建築事務所 横浜事務所 (歴史と未来をつなぐ「鎌倉 散策の森」)
SA	内藤廣・松田平田設計共同企業体 (「あたらしい生活文化の拠点をつくる」)
WA	隈研吾建築都市設計事務所・梓設計共同体 (市民を守り・つなぐ・やさしい・丘陵型庁舎)

2. 選定結果

（得点順）

順位	応募者名	得点	提案価格 (円・税込)	選定理由 (審査講評)
1 最優秀提案者 (優先交渉権者)	株式会社日建設計	641.7	294,800,000 円	「3. 最優秀提案者の 選定理由（審査講評） について」参照
2 次点者 (次点交渉権者)	内藤廣・松田平田設計共同企業体	604.4		
3		594.2		
4		570.7		

- ※ 提案価格は、企画提案書等提出時点の額であり、今後、仮契約を締結する際の契約金額とは異なる場合があります。
- ※ 鎌倉市プロポーザル方式等の実施に関するガイドライン及び鎌倉市新庁舎等基本設計及びDX支援業務委託公募型プロポーザル募集要領に沿って、3位及び4位の応募者名は記載しません。
- ※ 選定結果に関する情報は本市ホームページ等によって広く公開するため、次点者を除く落選した者の競争上の地位に配慮するとともに、より多くの提案を受け競争性を向上させる趣旨から各応募者の得点の内容を明らかにしないこととしているためです。

3. 最優秀提案者の選定理由（審査講評）

基本方針・基本コンセプトとして「ひとつながりの未来の庁舎『鎌倉ONE』」を掲げ、ハード・ソフト・DXを一体化した未来の庁舎のあり方を具体的に検討し、総合力のある提案であった。行政サービスの現場に寄り添い、DXを段階的に進める現実的な提案である点を高く評価した。

複数回のワークショップの実施や、モックアップを利用した検討など、市民や職員との対話を重視する姿勢を高く評価した。

建築計画については、保守的な提案であるとの意見もあったが、汎用性の高いオフィス空間や共用空間の作り方など、バランスの取れた提案である点を高く評価した。

提案概要書について、市民から受けた意見に対し、「市民を受け入れる器であり、1階が市民のコミュニティの場としてとても大切であることを重点的に説明した。」と、市民利用のシーンをメインに見せたいという提案概要書の作成意図を具体的に聞くことができた。

この案では、免震層を中間（2階と3階の間）に設けており、地下配置と比べコスト縮減が可能であることに加え、エキスパンションジョイントが1階周りに無く、1階が利用しやすくなることや免震層を災害時のためのスペースとして活用できるという点などが特徴であった。これに関し、委員から、非免震階となる1、2階について、書架の地震対策や上部階と空間的に分離しない工夫が必要との意見もあった。

4. 新庁舎等基本設計者等選定審査会

選定に当たった委員は8名で、委員名簿（次ページ）のとおりです。

なお、新庁舎等基本設計者等選定審査会から示されたFUチームへの意見は、次のとおりです。

最優秀提案者として選定したFUチームの提案内容の中には、計画の具体化に向け、鎌倉市と調整を要する事項も見受けられた。業務の実施に当たっては、鎌倉市との間で本事業の趣旨に関する相互理解を深めた上で、本事業の更なる充実に向けて、以下の点について十分に配慮されるよう、審査会として要望する。

- (1) 市民はもちろんのこと、鎌倉市職員とも十分に対話し、これからの新庁舎等のあり方を明らかにされたい。本事業を契機として、市、民間、市民の共創・協働が鎌倉市全体の公的価値の創造につながることを期待する。
- (2) 行政職員の働き方が変化していくことに対応したフレキシビリティの高い執務空間を十分に検討されたい。
- (3) 中間層免震と基礎免震について多角的に比較検討し、合理的な構造形式を選択されたい。検討に当たっては、中間層免震を採用する際に懸念される低層部の市民利用スペースと上層部の執務スペースの分断に対する工夫を検討されたい。
- (4) 屋上庭園を設ける場合は、市民が利用したくなる工夫を検討されたい。
- (5) 本庁舎と消防の複合施設という特徴を踏まえ、平時における防災意識を醸成するための防災活動の見せ方について検討されたい。
- (6) 市民のための施設でもあるが、この施設で多くの時間を過ごし、使用する職員が働きやすい空間にすることが重要である。職員がモチベーションを持って働け、高いパフォーマンスを発揮できる施設であることが、ひいては市民にとっての価値創造に繋がる。そのことを前提に設計業務に取り組まれたい。

最後に、本業務委託を実施する事業者におかれては、鎌倉市や市民と十分に協議し、市民に未永く愛される新庁舎等の基本設計を進め、鎌倉市とともに、本業務委託の成果の実現に向け、たゆまぬ取組を継続していくことを心より願います。

5. 今後

最優秀提案者と令和6年（2024年）10月中を目標に仮契約の締結、令和6年（2024年）12月中を目標に本契約を締結する予定です。より詳しい提案内容の情報は、10月中旬頃に本市ホームページに掲載する予定です。今後の進捗状況は、随時本市ホームページでお知らせする予定です。

事務担当は、市街地整備課庁舎整備担当
電話：（0467）23-3000（内線：2687）

審査会委員名簿

委員名	主な専門分野	所属等
1 稲水伸行	経営学・オフィス学 (オフィス・働き方)	東京大学大学院経済学研究科 准教授
2 大木聖子	地震学・災害情報 (防災)	慶應義塾大学環境情報学部 准教授 元深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会 委員 元鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 委員
3 亀山康子	環境政策 (環境)	東京大学大学院新領域創成科学研究科附属サステナブル社会デザインセンター長/教授 鎌倉市環境審議会 会長 鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会 委員 鎌倉市総合計画審議会 委員
4 国吉直行 (会長)	建築デザイン・都市デザイン (建築計画・まちづくり・都市デザイン)	横浜市立大学 客員教授 横浜市都市美対策審議会 会長 元鎌倉市本庁舎等整備委員会 委員長 元鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会 委員長 元横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会 委員
5 高橋晶子 (会長代理)	建築デザイン (建築意匠)	武蔵野美術大学造形学部建築学科 教授 元鎌倉市景観デザイン委員会 委員 元横浜市都市美対策審議会 委員
6 田中稲子	建築環境工学(住環境・省エネルギー)	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授 元横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会 委員 元横浜地方合同庁舎(仮称)整備等事業有識者委員会 委員 横浜市公共事業評価委員会 委員 横浜市環境影響評価審査会 委員
7 福岡孝則	ランドスケープ・都市デザイン (造園・都市計画)	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授 横浜市都市美対策審議会 委員 元世田谷区本庁舎等整備に係る区民利用施設総合運営計画策定検討委員会 委員 元神戸市役所本庁舎のあり方に関する懇話会 委員 元深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会 副委員長 元鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会 委員 元鎌倉駅西口駅前広場整備に関するアドバイザー会議 アドバイザー
8 箕浦龍一	行政学・公共政策 (DX・働き方)	一般社団法人日本ワーケーション協会 特別顧問 一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 理事 一般社団法人日本スポーツ・ヘルスケア・デザイン推進機構 理事 一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー 公務部門ワークスタイル改革研究会 研究主幹(一般財団法人 行政管理研究センター) 立教大学法学部 特任教授 元総務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官

(敬称略、五十音順、所属等は令和6年(2024年)4月1日時点)